
勇者アルスキンの冒険

八草 頼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者アルスクんの冒険

【Nコード】

N7371Y

【作者名】

八草 頼

【あらすじ】

それはアルスが十六歳になる誕生日の事でした。お母さんは言います。「アルス、私は今日この日のためにあなたをゆっかん男の娘として育てたつもりです」「娘違う！ 男の子だからね僕！」お城の王様は言います。「アルスが次のレベルになるには、36000ゴールド必要じゃ」「金取るの！？」アルスは見事魔王を倒せるのでしょうか。

旅立ちの日

それはアルスが十六歳になる誕生日の事でした。

「おきなさい、おきなさい、わたしのかわいいアルスや……」

「ぶはぁッ！ とつくに起きてるよ！ 鼻と口塞ぐのやめて！」

「おきなさい、永久の眠りから」

「まだ死んでないし！ まあ死にかけたけど！ 殺されかけたけど
「！」

「今日はあなたにとってとても大切な日です」

「ええ？ 何の日なの」

「今日は十五年前お母さんが処女を喪失した日です」

「知らないよ！ なんか生々しいからそういうのやめてくれない！
「？」

「まさか一発ではらむなんて……」

「いやいやそれだとなんかおかしくないか時期的に……」

「はっ！ 今のは聞かなかったことにして！」

「もう遅いよ！ つーかいろいろ怖いよ朝から！」

アルスはいきなり下ネタかよと先行きが不安になりました。私も不安です。

「というのは冗談で、今日はあなたがお城に行く日です。私は今日この日のためにあなたをゆうかな男の娘として育てたつもりです」

「娘違う！ 男の子だからね僕！」

「ちなみに魔王はふたなりが苦手です」

「そんな情報はどうでもいいよ！ 普通苦手でしょ！ 好きなのは一部の変な嗜好のひとつであって」

「アルス、お父さんの悪口を言うのはやめなさい！」

「ええっ！ 怒られた！？ 父さんまさか……」

「そんなことはどうでもいいからさっさとお城に行ってきなさい」

「どうでもよくないって！ すごいひっかかってるよ、喉に小骨が！ いや、アンカーぶちこまれた気分だよ！ このままじゃ行けないよー！」

「しょうがないわねえ……。じゃ、ちゃんと行って来たらPSP買ってあげるから」

「え？ ほんと！？ うわーい、やったあ！ じゃいつてきまーす！」

「王様にちゃんとあいさつするんですよ」

こうしてアルスは意気揚々とお城に向かいました。

王様に会います

お城にやってきたアルスを王様が迎えます。

「よくぞきた！ ゆうかなるアレルのむすこスメシよ！」

「王様、僕はアルスといます。そんな握ったりちらしたり巻いたりするやつじゃありません」

「ゆうかな勇者であった父の後を継ぎ旅に出たいというそなたの気持ち、しかと受け取ったぞ！」

「いえ、父さんはふたなり好きの変態だということがさつき判明しました。それに僕はPSPでモン　ンをやる予定なので旅には出ません」

アルスはそう言いましたが王様はまったく聞く耳持ちません。ちよっと横文字が入るとでんでダメなのです。

僕も大人だし、しょうがない付き合ってあげよう、とアルスは老人ホームに手伝いにやってきた中学生のような気分で相手をすることにしました。

「見事魔王を倒したあかつきには、わが娘ミア、三十八歳独身をおぬしの妻とする事を許そう」

「いえ、許さなくていいです。そこは禁止のままにしておいてください」

「まあそう恥ずかしがるでない。のうミリア」

王様の隣ではメガネをかけたブタさんが、生意気にも服を着ていました。

「えー、まあこの際文句は言わないけどあー、まだ子供じゃん？背も全然低いし〜」

「よかつた〜、子供で」

「まあパパがどうしてもって言うなら考えなくもないけど〜？」

「王様、僕のことは気にしないでください」

「ミリア、このとうりじゃー！」

「やめるジジイ！」

娘に頭を下げる王様に、温厚なアルスも声を荒げます。ですが許してあげてください。彼にも人生というものがあります。

「これ！ 王様に対してその口の聞き方はなんだ！」

そこに大臣がやってきました。

「あ、ごめんなさいっ……。やっぱり人生がかかってくると熱くなってしまうって」

「ミリア様など恐れ多い。代わりにわたしの娘ローラをやるっ。」

ローラ、来い！」

呼ばれて出てきたのは長身の女性。かなりの美女です。

「僕、やります。魔王をひねりつぶします」

「そうかそうか。ローラは男だがこの際問題ないだろう」

「やっぱりナシの方向でお願いします」

アルスは父と違いいたってノーマルです。ただしどちらかという
とロリ顔で貧乳、ツインテールにニーソックスは鉄板だと思ってい
ます。

それにツンデレが好物です。自分はMだと公言してはばかりま
せん。そんな彼が、果たして本当に勇者になれるのでしょうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7371y/>

勇者アルスくんの冒険

2011年11月22日02時54分発行